

北九州市立菊陵中学校  
学校だより  
令和4年2月9日号  
校長 上 赤 義 人

学校教育目標  
生徒一人一人の個性の伸長を図り、  
徳・知・体の調和のとれた、  
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

## 2.25 避難訓練

### ～「自分の命は自分で守る」～

最近、トンガ沖の海底火山による津波、宮崎県沖の日向灘を震源とする地震等がありました。こうした状況からも、日本の国土は、いつでも、どこでも地震や地震による津波・火事等に見舞われる可能性が大きいことが分かります。そして、今世紀には未曾有の災害が起こることが予想されています。当然、避難しなくてはならない場合も出てきます。

本校では、年間3回の避難訓練を実施しています。今月の2月25日にも、津波を想定した避難訓練を実施します(1・2年生のみ)。その避難訓練では、あの東日本大震災を経験した本校教員の土井先生からも当時の話等をお聞きします。生徒のみなさん一人一人が防災についてしっかりと考えてほしいです。

さて、今、本当に学校で地震や火事にあったらどうしますか?避難の基本は、小学校の時に習ったと思いますが、「おかしも」です。「(お)押さない・(か)かけない・(し)しゃべらない・(も)戻らない」です。これは、中学生も大人も同じです。実際に大地震や火事の時は、校内放送が壊れ避難指示が一斉にはできないかもしれません。そして、状況によってはグラウンドや体育館に集合しないで校舎の中にいた方がよい場合もあります。

だから、自分の普段の心構えと状況判断が生死を分けます。まさに、「自分の命は自分で守る」という意識を定着させることが大切です。

おうちの人とも自宅や地域で地震や火事に遭った時はどうするのか、地域の避難場所はどこなのか等を確認しておいてください。避難訓練後に配付される非常食を見ながら…。

### 保護者の方へ

我が国は、自然災害が多発する地域に位置しているため、これまでも地震・津波による被害が繰り返し発生しており、今後も自然災害の発生は避けて通れません。

北九州市教育委員会では、大地震、津波等の突然の災害に備えて、新入園児・新入生を対象に「災害時連絡カード」配布していましたが、これまで入園・入学時のみの配布であったため、継続して災害時における避難場所を十分に共有できていない状況がありました。

そこで、毎年必ず全児童生徒がご家庭で話し合いながら避難場所を確認し、災害時に即座に対応することができるように、家庭調査表に避難場所を記入する欄を設定しています。

#### 【 家庭調査票 】

災害時(地震・津波等)に避難する場所を、ご家庭で話し合いながら記入してください。

※③.....は、いつも立ち寄る場所を設定して記入してください

①家にいる時	②登下校の時
③.....にいる時	

年度当初の家庭調査票の記入だけでなく、常日頃から災害に遭った時にはどうするのか等をお子様と話をしておくようにしてください。よろしくお願いします。

また、2月25日の避難訓練後には、生徒一人一人に非常食を配付します。この非常食が、防災について家族で話し合うきっかけになれば幸いです。



### お知らせ

本校大規模改修のため、令和4年度体育大会は、5月28日(土)に実施する予定です。